

令和 7 年度 入学試験問題

小論文

注意事項

1. この問題冊子は試験開始の合図があるまで開いてはいけません。
2. この冊子は全部で 12 ページあります。
3. I , II の全 2 問に解答してください。
4. それぞれの問題について解答用紙が配布してあります。この他に下書用紙も配布してあります。解答用紙には受験番号を記入する欄がありますが、下書用紙にはありません。間違えないようにしてください。
5. 受験番号は解答用紙の指定された箇所に記入してください。決して氏名を書いてはいけません。
6. 算用数字とアルファベットは解答用紙の 1 マスに最大 2 文字まで書くことができます。
7. 試験終了後、解答用紙を回収します。
8. 問題冊子と下書用紙は持ち帰ってください。

I イギリスの小説家、批評家の Aldous Huxley (1894-1963) は、1959 年にカリフォルニア大学サンタバーバラ校で The Human Situation をめぐる連続講義を行った。第一回目の講義のテーマは integrated education であり、以下はその講義録の冒頭部分である。これを読み、設問に答えなさい。（*のついた語には注がついている。）（配点 100 点）

(Aldous Huxley, *The Human Situation, Lectures at Santa Barbara, 1959*, Edited by Piero Ferrucci, Harper and Row, 1977, pp. 1-3 より。改変あり。)

語注

higher education 高等教育, 大学教育

T. H. Huxley Thomas Henry Huxley(1825-1895)。イギリスの生物学者。教育制度の改革に尽力した。

whole-time 全時間(従事)の

specialization 専門化

put ~ into effect ~を実行する

humanistic 人文学の

satisfactorily 満足のいくように

potentialities 潜在的なもの

nurture (しつけ, 教育などの)環境

bring together ~ ~を寄せ集める

isolated 分離した

encyclopaedic 百科事典の, 博学な

objectively 客観的に

問1 Aldous Huxley は the function of the literary man をどのように考えているか。100 字以内で説明しなさい。(配点 30 点)

問2 Aldous Huxley の integrated education に関する主張を参考にして、あなたが今後の自分の学びについて考えるところを 400 字以内で記しなさい。(配点 70 点)

Ⅱ 以下の文章を読み、設問に答えなさい。(配点 100 点)

（池内了『科学者は、なぜ軍事研究に手を染めてはいけないか』みすず書房、2019年、pp. 86-89より。
改変あり。）

問1 第二次世界大戦終結の前と後に、ドイツと日本の科学者がとった行動の共通点と相違点について、100字以内で記しなさい。（配点30点）

問2 私たちは、国や自治体の法令、会社や学校の規則、家庭や友人同士での決め事のもとで生活をしている。筆者の意見を参考に、こうした様々な「決まり」に対するあなたの考えを400字以内で記しなさい。（配点70点）

